

畜産課・産業振興課（職員10名）

直通 本 庁 0986-76-8809
大隅支所 099-482-5951
財部支所 0986-72-0938

本市の基幹産業である畜産は、農畜産物生産実績に於いて約76%を占め、国の食料供給基地としての重要な役割を担っています。しかし、急速に進む高齢化や後継者不足等による畜産農家戸数の減少は著しく、また、飼料価格の高止まりや社会経済の不況を背景とした枝肉価格の低迷などによる経営の圧迫が大きな課題となってきました。このため、今後、畜産を振興していくためには、更に生産基盤の維持拡大とコストの低減を図っていく必要があります。

また、家畜の疾病による不安から、消費者の食品に対するニーズも、「量から質」・「健康志向」・「安心・安全」へと多様化し、消費者との信頼関係をより強固にすることが課題となっております。

曾於市としてのブランド化を目指し、畜産の更なる振興を推進します。

【畜産係・畜産指導係】

1 畜産振興協議会事業

5,650万円

市・ＪＡ一体となって、畜産の全般的な施策を実施することにより、本市の畜産振興に努めます。

＊畜産振興協議会事業に係る予算は、市1/2 ＪＡ1/2で予算化し、事業を行っています。

(1) 種畜改良増殖と管理技術の普及向上対策 839万円

家畜の改良と飼養管理技術及び意識の向上を図るため、各種品評会や研修会を開催します。

(2) 導入保留対策

3,079万円

肉用牛・種豚の資源確保と経営規模の維持拡大、家畜改良を図る為、優良家畜を導入保留された方に補助を行います。

(3) 改良増殖対策

50万円

種豚の改良増殖を図るため、優秀な純粋種の繁殖と肉質改善等を実施された方に補助を行います。

(4) 生産組織育成対策

738万円

地域における組織の育成強化と農家の経営安定を図る為、畜産振興大会の実施や各生産組織への補助を行います。

(5) 牛異常産対策

560万円

牛の流産・早産・死産・奇形などの異常分娩を防ぐ為、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。

(6) 防疫対策事業

384万円

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の発生に迅速に対応するために「家畜防疫管理システム」の構築等を行います。



2 畜産生産基盤施設整備事業（市単独）

1,020万円

畜産経営の基盤強化を図ることを目的に補助金を交付し、市の基幹産業である畜産振興を図り経営の安定化を図る。

(1) パドック式牛舎建設補助金

430万円

肉用牛・乳用牛の規模拡大と作業の省力化を図るため、周年放し飼い方式の牛舎を建設された方に補助を行います。

- ・牛舎建設補助 10頭規模以上 30万円以内
20頭規模以上100万円以内



(2) 堆肥舎（尿溜槽）設置補助金 120万円

規模拡大農家を中心に堆肥舎及び尿溜槽の設置を推進し、環境保全型農業の振興と畜産環境整備を図ります。

- ・堆肥舎建設補助 30万円以内
 - ・尿溜槽設置補助 30万円以内
- いずれも基準事業費の1/2以内の補助で、上限が30万円となります。

1) 堆肥舎



2) 尿溜槽



(3) 連動スタンション設置補助金 170万円

肉用牛・乳用牛の省力管理と飼養管理技術の改善を図るため、スタンションを設置された方へ補助を行います。

- ・スタンション設置補助
1基5,000円以内



(4) 牛舎改造補助金

300万円

対象となる改造は、既設牛舎の間仕切り撤去、牛床のコンクリート打設及び増築とする。増築の場合、牛床はコンクリート打設とし、排せつ物が流失しない構造とする（子牛育成牛舎建設も含む。）但し、5年間に5頭以上増頭する計画を有するものとする。

- 牛舎改造補助 一棟30万円以内

3 酪農振興事業（市単独） 558万円

酪農振興を図るため、各種ホルスタイン共進会の出品助成と乳用牛導入・保留された方に補助を行います。

- ・導入補助金 1 頭当たり 10万円
- ・保留補助金 1 頭当たり 3万円
- ・保留対策授精精液購入補助金
1 戸当たり10万円以内



4 枝肉共励会事業（市単独） 7万円

肉用牛肥育農家による枝肉共励会を開催し、肉質と飼養管理技術の向上を図ります。

5 シルバー和牛振興対策事業（市単独） 975万円

高齢者の豊富な飼育技術を活かし、肉用牛生産を奨励します。

- ・高齢者肉用牛飼養子牛せり市引付補助金（市単）
70歳以上の高齢者を対象に、せり市出荷 1 頭あたり3,000円を補助します。
（但し、寡婦は65歳以上を対象としております。）

6 畜産振興基金（貸付制度）

繁殖用（48か月齢以内）又は肥育用の肉用牛を導入・保留及び乳用牛を導入した場合に、最高40万円を繁殖用では4年間、肥育用では22ヶ月間無利子で貸し付けし、経営の安定と頭数の維持と地域内での一貫生産体系作りにつとめます。

7 繁殖雌牛・肥育素牛導入保留緊急対策事業(市単独) 6,000万円

繁殖用、肥育用に子牛を導入保留した場合に補助金を交付します。
繁殖用は 1 頭当り3万円、肥育用は 1 頭当り 3万円が限度です。



【有機センター 直通0986-28-8440】

1 有機センター管理費

6,755万円

畜産農家から排せつされる糞尿等を堆肥化处理し、良質な有機堆肥を生産する施設です。
本市が取り組む「有機農業のまちづくり」の核となる施設で、土着菌「森の華」を利用し製品化された良質な有機堆肥を農地へ還元することで、健康な土づくり（土壌生産能力の維持増進）、環境にやさしい農業を確立していきます。

＊土着菌とは

自然界の土壌中に生きる土着微生物で、本来動植物との共生関係を維持しながら、すばらしい環境を形成しています。

土着菌「森の華」は末吉町花房原生林から採取した土着微生物を培養したもので、堆肥の発酵促進と臭気を抑制する効果があります。



有機センター製品価格表

製品の種類	区 分	内 容 量	販売価格	
			市 内	市 外
土着菌入り森の華1号 （牛糞）	袋 詰	15kg	270円	300円
		7Lコバ ック500kg	3,300円	4,000円
	バラ完熟	2t車1台（5㎡）	11,000円	15,000円 ※志布志市松山町 は14,000円
		4t車1台（9㎡）	18,750円	25,500円
土着菌入り森の華3号 （牛鶏混合）	散 布	完熟品2t車1台	12,600円	15,000円 ※志布志市松山町 のみ
土着菌	袋 詰	500g	300円	350円
		15kg	2,000円	2,200円

「森の華」を利用した農産物（カボチャ等）の増収も実証されています。

市民の皆様のご活用をお待ちしております。

耕地課・産業振興課（職員23人）

直通 本 庁 0986-76-8810
大隅支所 099-482-5952
財部支所 0986-72-0940

【農地整備係・管理用地係・畑地かんがい係】

1 県営土地改良事業（負担金） 26,168万円

(1) 畑地帯総合整備事業（担い手育成型）

① 第一曾於北部地区 1,296万円

事業費 24億2,485万円（全体）
事業量 畑地かんがい
受益面積 144ha

分割採択

（1期地区）

事業費 13億8,850万円
受益面積 81ha
工期予定 H20年度～H26年度

（2期地区）

事業費 10億3,635万円
受益面積 63ha
工期予定 H25年度～H30年度



農道整備（正部）

事業の実施状況

平成25年度は事業費6,400万円（市負担金1,296万円）で、1期地区内の農業用排水施設A＝5ha及び減圧槽2箇所を整備予定です。

② 第二曾於北部地区 1,296万円

事業費 24億315万円（全体）
事業量 畑地かんがい
受益面積 267ha

分割採択

（1期地区）

事業費 13億1,850万円
受益面積 115 ha
工期予定 H22年度～H27年度

（2期地区）

事業費 10億8,465万円
受益面積 152 ha
工期予定 H25年度～H31年度



第二曾於北部一期地区(十文字)

事業の実施状況

平成25年度は事業費6,400万円（市負担金1,296万円）で、1期地区内のパイプライン（配水路）L＝3,400mを整備予定です。

③ 第三曾於北部地区		4,536万円
事業費	43億3,330万円（全体）	
事業量	畑地かんがい	
受益面積	617ha	
分割採択 （1期地区）		
事業費	15億4,500万円	
受益面積	233ha	
工期予定	H24年度～H29年度	
（2期地区）		
事業費	27億8,830万円	
受益面積	384ha	
工期予定	H25年度～H33年度	
事業の実施状況		
平成25年度は事業費2億2,400万円（市負担金4,536万円）で、1期地区内のパイプライン（配水路）L＝9,000m及び給水栓400個を整備予定です。		
④ 第四曾於北部地区		2,592万円
事業費	50億4,188万円（全体）	
事業量	畑地かんがい	
受益面積	541ha	
工期予定	H25年度～H33年度	
平成25年度は事業費1億2,800万円（市負担金2,592万円）で、地区内の実施測量の予定です。		
第四曾於北部一期地区（五位塚）		

⑤ 第五曾於北部地区		2,592万円
事業費	50億8,480万円（全体）	
受益面積	428ha	
工期予定	H25年度～H33年度	
事業の実施状況		
平成25年度は事業費1億2,800万円（市負担金2,592万円）で、地区内の実施測量及びパイプライン（配水路）L＝1,250mを整備予定です。		
		
		第五曾於北部一期地区（西原）

(2) 特殊農地保全整備事業		
梶ヶ野 東迫地区		3,530万円
本地区は、国営畑地かんがい事業の受益地内であり、畑作事業の継続的發展を図り、畑作経営の多様性に留意し生産合理化を図るためにほ場整備・排水路整備を行います。 （全体計画）		
事業費	80億円	
事業量	ほ場整備40ha 排水路等5,320m	
受益面積	43.7ha	
事業年度	平成24年度～平成29年度 （6年間）	
施工場所	大隅町梶ヶ野東迫地内	
		 梶ヶ野 東迫地区（現況）
事業の実施状況 平成25年度は事業費2億4,000万円（市負担金3,530万円）で、区画整理5.6ha 排水路L＝2,910mを整備予定です。		

(3) シラス対策事業	460万円
① 末吉堂園地区	65万円
本地区は、末吉町の北東部に位置し、地域は一次構造改善事業で整備済みであるが、排水路は幹線のみが整備され、その他は土水路で自然流下の状態でほとんどが未整備であります。近年営農の変化（マルチ栽培）や雨水の流出量もふえ生産基盤である農地が降雨のたびに侵食、崩壊を繰り返し農地・農業用施設に甚大な被害を受けている現状です。本事業を導入し農地の侵食を防止し農業所得の向上を図ります。	
（全体計画） 総事業費 2億4,000万円 （補助率：国55%、県40%、地元5%） 総事業量 （排水路）1,140m （集水路）1,720m （承水路）3,810m 事業年度 平成21年度～平成25年度 （5年間） 施工場所 末吉町深川地内	
	
（堂園地区現況）	
（平成25年度） 事業費 1,300万円(市負担金65万円) 事業量 （排水路等）730m	
② 末吉祝井谷地区	120万円
本地区は、末吉町の南部に位置する台地で、以前特殊農地保全整備事業で区画整理、農道、排水路の整備は行われているが、近年の農業形態はマルチ栽培等が増加し畑面からの雨水の流出量が増大し生産基盤である農地が降雨のたび侵食、崩壊を繰り返し農産物や農業用施設も多大な被害を受けている現状です。本事業を導入し農地の侵食を防止し農業所得の向上を図ります。	
（全体計画） 総事業費 2億9,075万円 （補助率：国55%、県40%、地元5%） 総事業量 （排水路）1,290m （集水路）2,480m （承水路）6,060m 事業年度 平成19年度～平成24年度 （6年間） 施工場所 末吉町岩崎地内	
	
（祝井谷地区整備状況）	
（平成25年度） 事業費 2,400万円(市負担金120万円) 事業内容（排水路等）2,135m （測量設計一式）	

③ 財部宇都地区	275万円
本地区は、昭和47～55年に特殊農地保全整備事業で整備されましたが、近年の営農形態（ハウスやマルチ栽培）が主体になってきていることから、降雨時には畑面の浸食・崩壊を繰り返しているのが現状です。本事業を導入し農地の侵食を防止し、農地の生産力を維持することにより農業所得の向上を図ります。	
（全体計画） 総事業費 4億7,000万円 （補助率：国55%，県40%，地元5%） 総事業量 （排水）970m，（集水）2,060m， （承水）8,000m 事業年度 平成22年度採択 施工場所 財部町下財部地内 （平成25年度） 事業費 5,500万円（市負担金275万円） 事業内容 排水路(500～360) L=1,345m  宇都地区現況	

(4) 県営かんがい排水事業	
大隅南地区	4,050万円
本地区は、かんがい排水施設が未整備のうえ、不安定な降水量と秋の干ばつや冬期の降霜により収穫が不安定である。 よって、本事業の導入により農業用水を確保し、より生産性の高い農業展開と経営の安定を図る。	
（全体計画） 総事業費 11億1,000万円 （負担率：国50%，県29.75%，市20.25%） 総事業量 揚水機場 5ヶ所 加圧機 2台 ファームポンド V=7,700m³ 配水路工 L=20,230m 事業年度 平成25年度～平成28年度 施工場所 大隅町荒谷地内 （平成25年度） 事業費 2億円（市負担金 4,050万円） 事業内容 ファームポンド基礎工 配水路工 L=7,400m  大隅南地区（現況）	

(5) 中山間地域総合整備事業	
大隅地区	1,520万円
効率的な土地利用を図るため、地域の効果的な農業用排水施設整備・農道整備・ほ場整備事業等を導入、中核農家への農地の集積、規模拡大等を進め農用地の有効利用と農用地の保全を図ります。	
(全体事業計画) 総事業費 15億5,700万円 総事業量 農業用排水施設整備 10路線L=5,110m 取水堰2基 農道整備 3路線L=1,670m ほ場整備 6団地A=41.7ha 農業集落道整備 10路線L=7,210m 集落防災安全施設整備 防護柵・外灯・防火水槽 事業年度 平成19年～平成26年(8年間) 補助率(国55%, 県30～25%, 地元15～20%)	(平成25年度) 事業費 9,600万円(市負担金1,520万円) 事業内容 ほ場整備 集落道整備 測量・設計
	
松田集落道現況	新留用水路現況

(6) 農村振興総合整備事業

末吉地区

4,096万円

地域農業の健全な発展と都市住民にも魅力ある住みよい農村を目指し、旧末吉町全域を受益とする「末吉地区」と称し景観や自然環境に配慮しつつ農地や農業用水などの農業生産基盤の整備や交通、衛生等の生活環境の整備、更に自然や景観等を活かした個性ある地域づくりを目指し、農村の総合的な振興を図るものです。

(全体計画)

総事業費 14億700万円

事業内容 ほ場整備・農業用排水整備
農道整備・農用地改良保全
鳥獣侵入防止施設整備
農業集落道整備・集落防災施設等

事業年度

平成21年度～平成26年度(6年間)

(平成25年度)

事業費 2億94万円

(市負担金4,096万円)

事業内容

ほ場整備(大路・八反団地 7.4ha)
農道整備、用水路整備



大路団地現況

(7) 県営農村災害対策整備事業

財部地区

200万円

本地区は、毎年梅雨期の集中豪雨や台風にみまわれ土砂崩壊を繰り返し農作物や農地・農業用施設に多大の被害が発生している。これらの災害から地域を守るため、緊急性の高い施設整備を実施するものである。

(全体計画)

総事業費 2億4,650万円

(補助率：国55%, 県40%, 地元5%)

総事業量 (土砂崩壊防止) 5箇所,

(排水路工) 1,994m

(法面工) 6,369㎡

事業年度 平成23年度採択

施工場所 財部町北俣・下財部地内

(平成25年度)

事業費 4,000万円(市負担金200万円)

事業内容 閉山田地区

排水路工 L = 1,794m



財部地区(閉山田)

2 農山漁村活性化対策整備に関する事業

大隅立馬地区・柳井谷団地

2,846万円

本地区は、未整備地区であり農道幅員が狭小で、水路も用排兼用の土水路である。農業従事者の高齢化、後継者不足が進み、営農活動や施設維持が困難となっています。

そのため、道水路を系統的に整備し、農道の拡幅及び水路の用排分離を進めることにより農作業の効率化を図るものです。

(全体計画)

総事業費 2億3,430万円

総事業量 ほ場整備9.3 ha

用水路L=3,297m

補助率 国55% 県15% 地元30%

事業年度 平成25年度～平成29年度
(5年間)

施行場所 大隅町立馬地区

(平成25年度)

事業費 2,323万円

事業内容 基盤整備(立馬地区)
換地計画・測量設計

事業費 523万円

事業内容 基盤整備(柳井谷団地)
換地処分 補完工



基盤整備(立馬地区)完成

3 農道等維持補修費

農道等整備原材料支給等

5,819万円

市が管理する施設以外の農道、用水路、排水路の維持管理のため生コンクリートやトラフ、砕石等の原材料を限度内で支給し、農業生産及び農村環境の整備を図ります。

(主な支給基準)

- 農道台帳に記載されていること。
- 農道幅員3m以上であること。
- 受益戸数2戸以上、受益面積概ね1ha以上



砕石散布状況



農道現況

4 農地・水保全管理支払交付金事業	710万円
--------------------------	--------------

本事業は、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発展を図るため、効率的・安定的な農業構造の確立と、基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を目指し、地域住民を初めとする多様な主体の参画を得て、地域ぐるみで効率の高い共同活動を実施することにより、地域の農地・水・環境の良好な保全と質的向上が図られます。

(全体計画) 総事業費 7,640万円 (県協議会負担金) 事業年度 平成19年度～28年度 (10年間) 参加地区数 16地区 ・末吉： 8地区 ・大隅： 6地区 ・財部： 2地区	(平成25年度) 事業費 710万円 (県協議会負担金) 参加地区数 16地区
---	--

共同活動



(排水路の草刈り)



(農道側溝の泥上げ)

5 農業・農村活性化推進施設等整備事業		3,380万円
(1) 末吉村山地区（頭首工改修）		590万円
本地区は、一級河川村山川から取水する用水路の水門であるが、手動のスライドゲートであるため、増水時の管理に危険を伴い多大な労苦を強いられている。今回、転倒ゲートに改修することにより維持管理の軽減と安定した用水量確保に努め、生産性の向上を図ります。 （平成25年度） 事業費 590万円 事業量 転倒ゲート 1式 (幅1.20m 高1.40m) 施工場所 末吉町深川地内 受益面積 16ha 関係戸数 66戸 地元負担 23万円	 村山地区現況	
(2) 財部市之坂地区（ゲート改修工事）		1,140万円
本取水ゲートは、老朽化により水門の開閉ができなく大変苦慮しているところである。特に河川が高水位の時など管理に危険性があり、早急に改修を行い維持管理の省力化を図るとともに適正な用水確保に努め健全な営農を行うことを目的とする。 （平成25年度） 事業費 1,140万円 事業量 取水ゲート一式（2.10×1.0） 施工場所 財部町南俣地内 受益面積 18.5 ha 関係戸数 80戸 地元負担 53万円	 市之坂地区現況	
(3) 大隅鳩ヶ山地区（井堰改修）		1,650万円
本地区の井堰は、老朽化により損傷が激しく増水時の管理は危険を伴うため、転倒ゲートを設置し維持管理の安全性と揚水量を確保し生産性の向上を図る。 （平成25年度） 事業費 1,650万円 事業量 井堰 2基 施工場所 大隅町坂元地内 受益面積 18.7ha 受益戸数 108戸 地元負担 73万円	 鳩ヶ山地区現況	

6 土地改良事業補助金

農業生産性の向上に寄与するため、団体及び共同で行う小規模土地改良事業に対し、市独自で予算の範囲内で補助金を交付します。

補助対象事業及び補助率等は下記の表のとおりです。

事業名	採 択 基 準				補助率
	受益面積	延長	幅員	その他	
かんがい排水	概ね 1.0ha以上			工事費 10万円以上 150万円以下	50%以内
農道整備	概ね 1.0ha以上	概ね 100m以上	3.0m以上 (橋梁 2.0m以上)	工事費 10万円以上 150万円以下 砂利道とする	50%以内
農道舗装	概ね 1.0ha以上	概ね 100m以上	3.0m以上 (舗装 2.0m以上)	工事費 10万円以上 150万円以下 舗装厚 3.0cm以上	50%以内



(農道舗装)



(用排水路整備)

7 土地改良施設維持管理適正化事業		1,079万円
(1) 大隅笠木原地区（転倒ゲート塗装工事）		16万円
笠木原頭首工は、老朽化と維持管理の軽減のために事業を実施します。 平成22年度～26年度の5箇年で事業費の30%を県土改連に拠出し、事業実施年度に10%を拠出します。		
事業内容 転倒ゲート2基 施工場所 大隅町坂元地内	 笠木原頭首工現況	
(2) 大隅西川地区（管理道整備工事）		1,063万円
西川用水路は、管理道が未整備であり管理作業に危険を伴うため蓋板を設置し、安全確保を図ります。 事業は、平成25年度に実施し、平成23年度～27年度の5箇年で事業費の30%を県土改連に拠出し、事業実施年度に10%を拠出します。		
事業内容 蓋板設置 L=250m 施工場所 大隅町荒谷地内	 西川用水路現況	

8 公園管理費		
(1) いきいき親水公園管理事業		395万円
いきいき親水公園は財部温泉センターに隣接する市民の憩いの場であり又、散策と交流の場となっている。施設の健全な運営，維持管理に努めます。		 いきいき親水公園
(2) 大隅農村環境改善センター管理費		115万円
農業経営及び農村生活の改善合理化，農業者等農村在住者の健康増進，地域連帯感の醸成等を図り，農村の環境整備を組織的に推進します。		 大隅農村環境改善センター

9 国営かんがい排水事業

曾於北部地区

①事業名 国営かんがい排水事業 曾於北部地区

②事業完了後負担 一期 国 82.6% 県 10.0% 市 7.4%
二期 国 78.7% 県 10.7% 市 10.7%

③関係市町 曾於市

④受益面積 2,052ha（普通畑1,751ha，樹園地33ha，茶園268ha）

⑤総事業費 388億円（全体事業費） H25.2月現在

⑥進捗率 93.0% H24年度末現在

⑦事業期間 平成8年度～平成26年度（予定）

⑧主要工事

（一期事業）

・谷川内ダム：（重力式コンクリートダム 堤高58.5m，堤長222.0m，堤体積176千³m³，有効貯水量1,920千³m³）

・栗谷頭首工：高さ1.6m，堤長12.8m

・導水路：（トンネル） 延長3.9km

（二期事業）

・用水路 総延長67.9km

送水路：6.2km

幹線水路：19.4km

支線水路：1.5km

配水路：40.8km

・揚水機場 4ヶ所

・ファームポンド 5ヶ所

⑨事業実施状況

一期事業の谷川内ダム、栗谷頭首工、導水路

路については、平成23年度までに整備を終え、平成23年10月～平成24年8月にかけて、ダムに試験的に水を貯めて施設に不具合がないかを確認する“試験湛水”を実施し、平成25年2月に河川管理者の完成検査を終えたところで、平成26年度末には一部供用を開始する見込みです。

二期事業の、用水路、揚水機場ファームポンド（貯水タンク）については2/3程度の整備を終えており、事業工期の平成26年度に向けて順次整備を進めていくこととしております。



谷川内ダム



谷川内ダムサイト

10 現年発生農地・農業施設災害復旧費**2,202万円**

災害復旧事業は、異常な天然現象によって災害を受けた農地・農業施設（農地，農道，用排水路，頭首工等）を原形に復旧することが目的です。なお，国の補助事業であるため，次のような一定の条件があります。

（主な採択条件）

- ・被災当時の1時間雨量が20mm及び24時間雨量が80mm以上であること。
- ・現年発生災害であること。
- ・受益戸数が農地1戸以上，農業用施設2戸以上であること。
- ・復旧工事費が40万円以上であること。

（補助率，負担割合）

- ・農地（通常）：国50%，残50%の8割市負担，2割受益者負担
- ・農業用施設（通常）：国65%，残35%市負担

市単独農地災害復旧事業補助金

本事業は，団体等が行う国庫補助の対象とされない10万円以上40万円未満の農地災害復旧事業について，農家負担の軽減と農業経営基盤の安定を図るため，予算の範囲内で補助金を交付するものです。

（交付基準）

補助対象は，団体等が行う農地災害復旧事業に要する経費とし，工法は畦畔及び埋没，流失の復旧です。畦畔については，竹柵工，土羽工とするものです。補助率は（畦畔復旧：事業費の80%以内）（埋没，流失の復旧：事業費の50%以内）です。



（復旧状況）